

保存版

東豊地区福祉活動計画

人と人がつながり 夢が広がる東豊 ～笑顔とあいさつが広がるまちに～



東豊地区福祉懇談会・東豊地区自治会連合会

新発田市・社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

ごあいさつ

この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、東豊地区の「地区福祉活動計画」を策定させていただきました。



当地区は、歴史からしても新しい町内で昭和50年代の駅東開発事業を境に開発がどんどん進み、現在では人口約1万人から成り立ち、市内外から多くの方々が移り住み発展を広げている生活にも利便的な地域です。

この計画策定に当たり、福祉懇談会や編集委員会に各自治会・町内会の会長や役員、さまざまな地域組織の方々など多くの地域住民の皆様からご協力いただき、あらためて御礼申し上げます。

昨年8月から福祉懇談会を3回実施し、グループでの討議を中心に話し合いを重ねるごとに、未来に向かって進んでいく東豊地区は、やはり地域住民が主体となって考え、お互いに助け合える関係を築く事が大切であると感じております。

少子化問題や団塊の世代が高齢化していく問題、地域の担い手不足、新しい地区ならではのコミュニティ形成の難しさ等の地域課題をあらためて認識し、東豊地区のこれからの地域像を共有するなど地域としての連帯感や新たな問題意識も生まれました。これらの地域課題に共通認識をもち、一人ひとりが主体的に取り組む内容、地域や関係機関と協働して取り組む内容等、具体的な意見や方向性を出すことができました。

この地区福祉活動計画を地域の皆様にご覧いただくとともに、ここからスタートとして共に議論を深め、推進につなげていければと願うところです。

平成29年3月

東豊地区自治会連合会 会長 阿部 功

目 次

1	地域伝言板	
	(1) 東豊地区の特色	1
	(2) 東豊地区の発展	2
2	計画の概要	
	(1) 東豊地区福祉活動計画とは	3
	(2) 東豊地区福祉活動計画の目的	3
	(3) 東豊地区福祉活動計画の推進に向けて	3
	(4) 東豊地区福祉活動計画づくりの意義	4
3	地域の魅力と現状	
	(1) 地域の魅力について	5
	(2) 地域の現状について	5
4	福祉活動計画	
	(1) 基本理念（スローガン）	6
	(2) 基本目標	6
	(3) 計画の実現に向けて	7
5	策定方法	
	(1) 東豊地区福祉活動計画策定団体等	9
	(2) 東豊地区福祉活動計画策定経過	10
	(3) 東豊地区福祉懇談会で出された意見	11
6	参考資料	
	「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系	19
	東豊地区福祉懇談会回覧	21



1 地域伝言板

●●● すてきな人々の夢と未来が輝く 東の豊かな町 ●●● 東豊地区

東豊地区は新発田駅の東側に位置する、人口約1万人の新興住宅地です。新発田駅に近いので、生活の利便性が高く周辺には公共施設が立ち並び、住みよい環境です。また、隣接地域の新発田中央公園や五十公野公園が近くに立地しています。レジャーとしては新発田温泉あやめの湯と市民プールがあります。五十公野山や二王子岳など、すばらしい眺望がひろがっています。駅東開発や道路整備も進み、これからますます地域の発展が期待されます。



(1) 東豊地区の特色

●市内の約一割の人口を占めている東豊地区 ＜町名別人口世帯数＞ H29.1 末現在

町名	世帯数	男	女	合計
豊町1丁目	238	284	274	558
2丁目	645	739	750	1,489
3丁目	555	602	683	1,285
4丁目	606	733	759	1,492
計	2,044	2,358	2,466	4,824
東新町1丁目	633	835	858	1,693
2丁目	277	299	361	660
3丁目	386	512	437	949
4丁目	541	809	831	1,640
計	1,837	2,455	2,487	4,942
高浜	41	68	66	134
合計	3,922	4,881	5,019	9,900

※平成29年1月末現在、住民基本台帳による市内の総人口数は99,613人です。

●新発田駅「駅東交通広場」が完成

平成25年度から進めてきていた駅東交通広場が平成28年8月に完成。バリアフリー化と利便性が向上しました。ハード面においても進歩が続いています。



●主な施設等

- 新発田駅
- 県立新発田高等学校
- 県立新発田商業高等学校
- 東豊小学校
- 豊町コミュニティセンター
- あやめの湯
- 県新発田地域振興局
- 養護老人ホームあやめ寮

●地区の中で活動が盛んな団体

- 東豊地区の町内会
- 新発田地区交通安全協会東豊支部
- 東豊学区青少年健全育成協議会
- 各地域老人クラブ
- 各地域消防団
- 各地域自主防災会
- 各地域子ども会
- NPO法人ユー&ミーの会
- 杉並会
- 三柱神社氏子会
- 東新高浜福祉の会

●都市計画道路「西新発田五十公野線」が開通

平成23年度から進めてきた都市計画道路(東豊工区)の整備が平成28年7月に完了し、中心部と郊外のアクセスがより便利になりました。



(2) 東豊地区の発展

主な出来事～早見年表～

明治 29 年 (1896)	県立新発田高等学校創立	昭和 63 年 (1988)	東豊小学校が開校
昭和 42 年 (1967)	県新発田総合庁舎（現在の県新発田地域振興局）が開庁	平成 5 年 (1993)	旧国鉄赤谷線跡が「歴史探勝の道」として開通
昭和 52 年～	駅東開発事業が始まる	平成 6 年 (1994)	あやめの湯開設
昭和 58 年 (1983)	東豊地区に県立新発田商業高等学校が開校	平成 28 年 (2016)	西新発田五十公野線（東豊工区）が開通
昭和 59 年 (1984)	駅地下通路開通		駅東交通広場が完成

～発展を繰り返り広げてきた東豊地区～



▲ 左は昭和 23 年当時の新発田高校の校舎前の様子。昭和 41 年には第 2 代校舎となり、平成 21 年に現在の校舎として大改築。平成 28 年 10 月 22 日には 120 周年式典が行われ時代の変化が感じられる。



▲ 左は昭和初期の現新発田高校付近の通りの様子。現在では想像もつかない光景で杉並木が生い茂っていた。

▲ 学区変更により御免町小学校、二葉小学校、五十公野小学校の三校より分離し、昭和 63 年に東豊小学校として新設。平成 29 年にはちょうど 30 周年目を迎える。



◀ 大正 14 年 11 月から昭和 59 年 3 月まで国鉄赤谷線が走っていたが、現在はサイクリングロードと呼ばれる歴史探勝の道として親しまれている。



◀ 大正 6 年 4 月に新発田商業学校として設立されたのが歴史の始まり。昭和 23 年に新潟県立新発田商工高等学校と改称し新制高等学校に移行。昭和 58 年に商業学級が現在の板敷へ移り商業科として開校。平成 29 年度には 100 周年を迎える歴史と伝統を誇る。



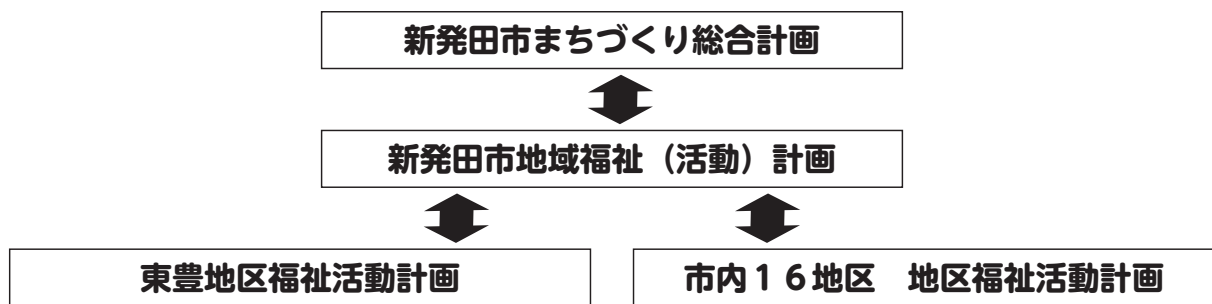
2 計画の概要

(1) 東豊地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「東豊地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域のみんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

(2) 東豊地区福祉活動計画の目的

東豊地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいいな」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域（東豊地区）で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

(3) 東豊地区福祉活動計画の推進に向けて

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、東豊地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取組を進めていくことが重要です。

(4) 東豊地区福祉活動計画づくりの意義

東豊地区福祉活動計画を地域のみなんで作ることで

- ①地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができます。
- ②計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られます。
- ③中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができます。
- ④活動の優先順位や重点がはっきりします。
- ⑤活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができます。
- ⑥計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなります。

みなんで作る東豊地区福祉活動計画





3 地域の魅力と現状

東豊地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

東豊地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは東豊地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで東豊地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成28年8月～平成28年10月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

(1) 地域の魅力について

① つながりについて

- ・ 隣近所のつながりがある
- ・ 子ども達に関心を持って見守っている
- ・ 子どものあいさつが良い
- ・ 困っていると助けてくれる
- ・ 住民同士のコミュニケーションが図られる行事が充実している

② 地域活動について

- ・ 自主防災活動がある
- ・ さまざまな団体が活発に活動している
- ・ 町内会活動が活発である（賽の神、ウォーキング、金魚台輪引き 等）

③ 社会資源について

- ・ 公共交通機関が整っている
- ・ 医療が充実している
- ・ サイクリングロード（歴史探勝の道）がある

④ 地域性について

- ・ 利便性が良い
- ・ お年寄りがみんな元気である
- ・ 経験豊かな人が多い
- ・ 自然豊かである

(2) 地域の現状について

① つながりについて

- ・ あいさつをしない大人がいる
- ・ 孤立している人がいる
- ・ 困っていても周りに頼りにくい

② 地域について

- ・ 空き家が多い
- ・ 核家族が増えている
- ・ 高齢化が進んでいる
- ・ ごみの分別などマナーの悪い人がいる
- ・ 行事の参加者に偏りがある
- ・ 施設など交流の場所が少ない

③ 生活について

- ・ 子ども達の遊ぶ場所が少ない
- ・ 新しい道路ができて交通事故が心配
- ・ ゴミ出しのルールを守らない人がいる

④ 後継者不足について

- ・ 役員などのなり手が少ない



4 福祉活動計画

東豊地区福祉活動計画

(1) 基本理念（スローガン）

東豊地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

人と人がつながり夢がふくらむ東豊
～笑顔とあいさつが広がるまちに～



(2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	みんなで作る安全・安心なまちに
基本目標 2	明るく楽しい地域活動があるまちに
基本目標 3	豊かな人と人のつながりがあるまちに
基本目標 4	人が集まる魅力あるまちに
基本目標 5	福祉の拠点づくりを進め絆のあるまちに



(3) 計画の実現に向けて

福祉懇談会では
目標達成の具体的な取組の例 → **自分達でどんなことができるのか**
 アイディアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること（取組の例）

基本目標1 みんなでつくる安全・安心なまちに

目 標		実施項目（取組の例）
1	安全・安心な東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動、自主防災活動の継続的な活動を行う ・防災訓練にみんなで参加する ・防犯パトロールを行う ・交通安全のために積極的に事故防止の活動をする ・地域を巡回して危険箇所を把握する
2	みんなつながる東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが集まりやすい場をつくる（お茶の間など） ・お年寄りや一人暮らしの方を見守り支える ・出来る事からお互いに助け合う ・ごみ出しなどのマナーを守り声をかけあう ・コミュニティセンターを拠点にした取組を行う

基本目標2 明るく楽しい地域活動があるまちに

目 標		実施項目（取組の例）
1	みんなに参加する東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・東豊地区全体で参加できる行事を目指す ・子どもから高齢者まで誰でも参加出来る行事づくりを行う ・子どもに対し自ら声をかける ・世代間交流の場をつくる ・夏祭りなどを実施し、大人や子どもが声をかけあう機会をつくる ・ゴミ出しなどのマナー向上を推進する
2	明るく楽しい東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・全世帯をまき込むような行事の計画をする ・若い世代が参加できるように町内会活動を計画する ・福祉の会、コミュニティセンター活動の活性化を図る

基本目標3 豊かな人と人のつながりがあるまちに

目 標		実施項目（取組の例）
1	人と人のつながりを大切にした東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板や配布物を一声かけてコミュニケーションを大切にする ・ 誰もが参加できる行事を行う ・ 人が交流できる地域の居場所をつくる ・ お年寄りから知恵を学ぶ機会をつくる ・ お年寄りの今日行く場所をつくる ・ コミュニティセンターを活用した取組を行う
2	地域連携のある東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校と地域のつながりを深める ・ 町内会と民生委員の連携をより図る ・ 地区全体の連携を図る ・ それぞれの持ち場や立場で地域の発展に努める ・ さまざまな団体や機関が行う勉強会などに積極的に参加する

基本目標4 人が集まる魅力あるまちに

目 標		実施項目（取組の例）
1	心豊かな地域活動のある東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣近所であいさつができるようにする ・ 隣近所で支え合いの活動を推進する（ゴミ出しや除雪など） ・ 地域の集まり（催し物）の参加と呼びかけを行う ・ 子どもの学習の手助けを行う（地域の人材を活用して） ・ 地域の居場所をつくる ・ 趣味やサークル活動の活性化を図る ・ 米や野菜づくりの体験を行う ・ 町内会活動の充実を図る ・ 各世代のリーダーを育成する
2	社会資源を活用した魅力ある東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ あやめの湯を有効活用する ・ 公園などを活用した花壇づくりを行う ・ サイクリングロードを活用した健康づくりを行う

基本目標5 福祉の拠点づくりを進め絆のあるまちに

目 標		実施項目
1	福祉の拠点づくりを進める東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなコミュニティセンターを目指す ・ 地域の茶の間など居場所づくりを行う ・ 東豊地区の地域情報や福祉情報の収集・提供を行う
2	福祉の拠点を活用した東豊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東豊地区全体で趣味やサークル活動の活性化を図る ・ 健康体操教室や料理講習会などを企画する ・ 民生委員による日常的な福祉相談会を行う



5 策定方法

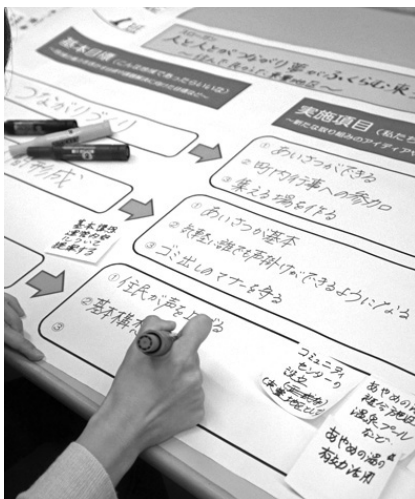
(1) 東豊地区福祉活動計画策定団体等

東豊地区福祉活動計画は、東豊地区自治会連合会を中心に町内会の代表者、民生委員児童委員や主任児童委員、保健自治会、子供会、老人クラブ、シニアクラブ、自主防災会、消防団、杉並会、農家組合、市議会議員、小中学校PTA、NPO法人ユー&ミーの会、新発田地区交通安全協会東豊支部、新発田南地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

●東豊地区自治会連合会

1	豊町1・2丁目町内会
2	豊町3・4丁目町内会
3	東新町西町内会
4	東新町2丁目町内会
5	東新町3丁目町内会
6	東新町4丁目町内会
7	高浜町内会

- 東豊地区自治会連合会
- 町内会の代表者
- 民生委員児童委員
- 主任児童委員
- 保健自治会
- 子供会
- 老人クラブ
- NPO法人ユー&ミーの会
- 新発田地区交通安全協会東豊支部
- 新発田南地域包括支援センター
(東豊地区担当)
- シニアクラブ
- 自主防災会
- 消防団
- 杉並会
- 農家組合
- 市議会議員
- 小中学校PTA



(2) 東豊地区福祉活動計画策定経過

年月日	会議等	内 容
平成 28 年 4 月 27 日	東豊地区自治会連合会総会 (東新町三丁目公会堂)	・東豊地区福祉活動計画について説明
平成 28 年 6 月 30 日	東豊地区自治会連合会役員会 (新発田市ボランティアセンター)	・地域福祉懇談会の開催に向けて (参加者 7 名)
平成 28 年 7 月 15 日	第 1 回 東豊地区福祉懇談会開催案内 回覧	
平成 28 年 8 月 4 日	第 1 回東豊地区福祉懇談会 (新発田市ボランティアセンター)	・「東豊地区福祉活動計画」勉強会 ・グループワーク 1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者 73 名)
平成 28 年 8 月 22 日	第 1 回 東豊地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成 28 年 9 月 1 日	第 2 回東豊地区福祉懇談会 (新発田市ボランティアセンター)	・グループワーク 2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 計画の基本目標の検討 ・グループ発表 (参加者 62 名)
平成 28 年 9 月 15 日	第 2 回 東豊地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成 28 年 10 月 6 日	第 3 回東豊地区福祉懇談会 (新発田市ボランティアセンター)	・グループワーク 3 前回の振り返り及びまとめ 基本目標の検討 スローガンの検討 ・グループ発表 (参加者 67 名)
平成 28 年 10 月 24 日	第 3 回 東豊地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成 28 年 11 月 8 日	第 1 回編集委員会 (新発田市ボランティアセンター)	・東豊地区福祉活動計画の基本理念、基本目標などの 検討 (参加者 12 名)
平成 28 年 11 月 28 日	第 2 回編集委員会 (新発田市ボランティアセンター)	・東豊地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目など の検討 (参加者 10 名)
平成 29 年 2 月 6 日	第 3 回編集委員会 (新発田市ボランティアセンター)	・東豊地区福祉活動計画(案)修正・確認等 (参加者 11 名)
平成 29 年 3 月	・東豊地区福祉活動計画完成	



(3) 東豊地区福祉懇談会で出された意見

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。

懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。(グループごとに掲載しています)

1 私たちの地域のいいところ

- ・ 利便性が良い
- ・ 駅が近い
- ・ 公園が多くある
- ・ 居住性がある
- ・ 公共施設が多い
- ・ 子どもへの声かけができています
- ・ 自然が豊か
- ・ 病院がある
- ・ 全ての種類の開業医がある
- ・ 隣近所のつながりが良い
- ・ 子どものあいさつが良い=大人がきちんとしている
- ・ 小学生の野球チームを通じた人間教育
- ・ 中学生の交通マナーが良い
- ・ 多種多様な前歴を持った方々が住んでいる
- ・ 町内活動が活発である(賽の神、ウォーキング、金魚台輪引き、グラウンドゴルフ等)
- ・ 町内の広報を発行している
- ・ 自主防災活動がある
- ・ 地区に運動会や文化祭がある
- ・ 図書館が近い
- ・ 買い物に便利である(スーパー、コンビニ)
- ・ 遊歩道がある
- ・ 高校がある
- ・ 民生委員活動の絆が強い(とまり木サロン)
- ・ 青少年育成協議会活動が活発である
- ・ 交通安全協会が地域と連携している
- ・ お年寄りがみんな元気である



- ・ さまざまな職種の人が住んでいる
- ・ 町内の行事に大勢参加してくれる
- ・ 新発田駅が近くにあり利用する時に便利である
- ・ 子ども達のあいさつが良い
- ・ 班同士がよく会話しており、朝晩隣同士で見まわりをしている
- ・ 子ども達に関心を持って、見守っている
- ・ 向こう三軒両隣、仲良く会話したり、お茶のみをしている
- ・ 「あやめの湯」が近くにあり、健康管理に最適である
- ・ 近所の人困っていたら助けてくれる
- ・ 公共下水道が整備され河川がきれいで自然環境が良い
- ・ 住宅地のため、いろいろな所から人が集まってきてコミュニティがある
- ・ 町内会が活発なところ
- ・ 子ども会が活発なところ
- ・ 小学校がある
- ・ 温泉がある
- ・ 道路がきちんと整備されている
- ・ 町内の行事がたくさんあるところ
- ・ 町内会に、ほとんど100%加入していただいている
- ・ 公園が多くあり、五十公野公園も近い
- ・ 「福祉の会」が市内に1つだけ残って継続している
- ・ 道路が新しくなった
- ・ 町内の行事が、子ども達の為に楽しいものがたくさんある





- ・少年団などが多くある
- ・町内会のコミュニティ活動が多いこと
- ・経験豊かな人が多い
- ・隣の顔が見える
- ・住宅環境が良く、駅が近い
- ・「福祉の会」が存続してきた地域であること
- ・子ども達に声かけをしている
- ・もうすぐ市外へのアクセスが良くなる
- ・7号線が近い
- ・自治会組織が整えられている
- ・子ども会、老人クラブ等との連携がとれている
- ・町内会や役員会のコミュニケーションが良くとれている
- ・夏休みはラジオ体操をしている
- ・高校の吹奏楽部の練習の音が聞こえてきて楽しくなる
- ・夏休み、ラジオ体操をシニアクラブと子ども達が一緒に実施している
- ・親睦を図ることを目的にシニアクラブを立ち上げた
- ・町内文化祭をやっている
- ・町内会・子ども会・中学PTA共催で夏祭りを実施している
- ・町内夏祭りをやっている
- ・住民間のコミュニケーションがとれる行事が充実している
- ・町内の方々が協力しながら、子ども会で交通指導を行っている
- ・自然豊かなところ（蛭）
- ・町内会長が町内のことを良く把握されている
- ・町内の美化に住民が協力的で大勢参加してくれる
- ・シニアクラブでは連絡事項は必ず本人に渡す（ポストに入れない）
- ・町内会組織が活発である
- ・町内の神社の祭礼に多数参加している
- ・花の多い地区
- ・老人クラブの集いにも大勢参加している
- ・100歳の方が一人で暮らしていますが、生き生きと元気に過ごしています
- ・田園風景があり大型商業店舗もあり良い地区である
- ・子ども達にも「おはよう」の声かけをしている
- ・近所から野菜等のおすそ分けがある
- ・子ども会でミニ運動会などの行事を行っている
- ・町内会とは別に「杉並会」があり、様々な行事がある
- ・多くの経験を積んでおられる方がいるので、自分にも役立っています（傾聴をやって訪問しています）
- ・防災会で避難訓練を実施している
- ・春、秋に町内一斉清掃を実施している
- ・町内運動会を実施している
- ・町内会で健康ウォークを実施している
- ・子ども会と新生クラブで草取りを行う
- ・子ども達が明るく、感じが良い
- ・子ども達のあいさつ
- ・町内会活動等で行事に関わり合いを持ちやすい地域
- ・盆踊りやどんど焼き等の地域の行事がある
- ・ボランティアを募ると集まりが大変良い
- ・子どもの交通安全に地域一丸となっている
- ・駅に近いという利便性
- ・公共機関、学校、公園、道路等の環境が良い
- ・島潟・荒川線が開通し交通の便が良くなった
- ・広い道路がたくさんできている
- ・サイクリングロードがあり、健康増進や安全に運動ができる
- ・サイクリングロードがあるので、散歩やウォーキングに良い

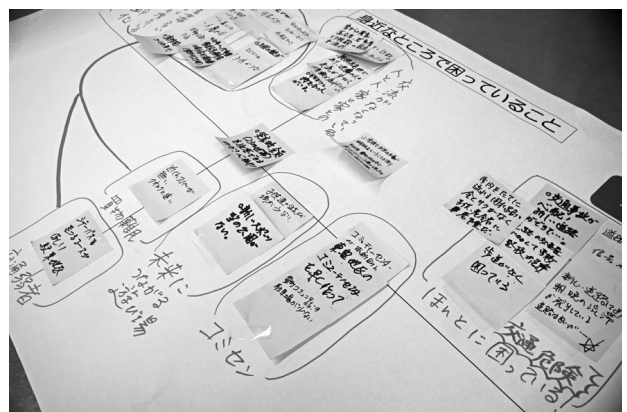




- ・公園が多く子どもの遊び場がある
- ・公園に花壇があり心が癒される
- ・五十公野公園がありウォーキングコースに良い（菖蒲や自然を見ながら）
- ・年齢等の人口バランスが良い
- ・特筆するような悪いことがないところ
- ・新発田祭りで金魚台輪を各町内で引き回している
- ・金魚台輪を施設にも引き回して、喜ばれている
- ・近所づきあいが良好です
- ・公園の共同作業（草取り等）
- ・人数が少ないから集まりが良い
- ・皆さんとあいさつを良くする
- ・草取り等の地域活動に介護施設職員の方も積極的に参加している
- ・登下校時の子どもを常に家の前で見守り、あいさつをする
- ・生活するのに便利（交通、買い物、医療）
- ・ご近所とのつながりがある
- ・各々の家の前に花をいっぱい育てている
- ・人柄がまじめで親切な方が多い
- ・夏祭り等の町内会や子ども会の行事がある
- ・隣近所、声かけ合っている
- ・町内会や子ども会で、いろいろな行事があることでつながりがある
- ・隣組と仲良くやっています（年3回位懇談している）
- ・民生委員が一生懸命に活動している
- ・交通安全協会の活動が活発である
- ・「杉並会」の活動が活発である
- ・「福寿会」は毎週水曜日に健康体操をしている
- ・「忘れん転ばん塾」の参加者が多い
- ・振興局、病院、ボラセン等が近くにある

2 身近なところで困っていること

- ・つながり、絆が薄い
- ・大人があいさつを返さない
- ・空き家が多い
- ・空き家の草刈りがうまくできていない
- ・道路が迷路のようで事故が心配
- ・町内の側溝清掃作業が困難
- ・住宅と買い物エリアが重なるため危険
- ・街灯の暗い所がある（特に路地）
- ・自治会役員の成り手がいない
- ・町内の範囲が広くなりすぎて、つながりがなくなりつつある
- ・子どもが誰だか分からない
- ・困っていても周りに頼れない、頼りたくない
- ・人数が多いため人任せの傾向がある
- ・困っている時に地域包括支援センターなどの相談機関があることを分からない人が多い
- ・困りごとなどは、あまり近所の人に知られたくないから相談しない人が多い
- ・高齢化である
- ・人口減少が見られる
- ・核家族が増えている
- ・小川沿いの雑草駆除
- ・鉄道沿線の雑草駆除
- ・コミュニティセンターがない
- ・中学校が遠い
- ・町内の道路標識がほとんど消えていて危険
- ・横断歩道はあるが信号がなく、電柱などで子どもが隠れて車が気付かない
- ・空き地の雑草が多く困っている
- ・町内活動に若い人の参加が少ない



- ・新しい道が出来たら車の流れが悪くなった所がある
- ・新しい道路が完成しても安全が損なわれている
- ・新しい道路が開通し交差点の横断歩道が登校時の児童に危険である
- ・新しい道路のため不便が多くなった
- ・コミュニティセンターがなく交流の場が少ない
- ・荒れ放題の空き家がある
- ・道路への不法投棄がすごい
- ・ごみの分別のマナーが悪い
- ・犬のフン害で町内が困っている
- ・大人のあいさつが少ない
- ・一人暮らしの高齢の方が多い
- ・道路の整備が悪い＝危険（標識、信号、ライン等）
- ・最近オレオレ詐欺の被害が数件あった
- ・子どもの数が減ってきている
- ・一人暮らしの方が多くなっている
- ・コミュニティセンターを早く作ってほしい
- ・子ども達の遊ぶ場所が少ない
- ・子どもの数が少ない
- ・消雪設備がない所が多い
- ・町内を縦に流れる用水路に全く柵がなく、子どもや高齢者に危険だ
- ・10年～15年後は後期高齢者の割合が激増
- ・消防団員の減少がみられる
- ・新しい道路ができて交通事故が心配
- ・新しいスポーツ型の公園がない
- ・近くにスーパーがない
- ・シティーバスが走るコースがほしい
- ・町内会の役員の成り手がなくて高齢者ばかり
- ・盗難被害があったので不安
- ・高齢者世帯や一人暮らしの方が多い
- ・空き家が多くなっているので困っている
- ・歩道がなく困っている
- ・豊町コミュニティセンターの駐車場が少ない
- ・新興住宅地であり、近所の人との交流が少なく情報が伝わりにくい
- ・災害時、地区全員を取容できるのか心配
- ・関わりを持たない人がある
- ・道路の交通量が多く、登下校が危険である
- ・昔からの農家、高齢者、若年層と3種類の家庭が混在
- ・新しい道路が良いが、朝晩の渋滞が発生している
- ・各種行事の参加者に偏りがある
- ・一人暮らしの高齢者家庭の現況が分からない
- ・犬の散歩でフンを片付けない
- ・ごみ出しのルールが守られていない
- ・ごみ出しのルールを守れない人への啓発活動
- ・新しい道路ができて車が渋滞して困っている
- ・新しい道路が作られ子ども達の通学路が危険になった
- ・高齢化に伴い空き家が多くなっている
- ・高齢者が多くなり若者がいない家族が多くなっている
- ・除雪が遅いし除雪がきちんとされない
- ・ごみ屋敷寸前の家があり困っている
- ・歩道が狭く歩行に支障が出る
- ・犬のフンが通学路にあり、子ども達が避けて通る
- ・新しい道路に馴染めない
- ・道路建設によって空き地の雑草の苦情
- ・交差点に信号機が設置されていない所がある
- ・用水路に転落防止柵がない所がある
- ・町外から別の日にごみを置いていく
- ・新しい道路が開通となり、通行しにくくなったところがある
- ・町内会の役員構成、各世代、男女のバランスが悪い
- ・1ヶ月に1回は事故がある
- ・島潟・荒川線開通で横断歩道の手押し信号や速度標識がほしい
- ・道路が良くなり事故等が心配
- ・道路に横断歩道が少ない
- ・大雪の年は、消雪パイプが十分でないで道路が狭くなり大変だ
- ・中学校が別々にわかる
- ・店先に違法駐車が当たり前の状況
- ・早く下水道を完備してほしい
- ・犬や猫等の管理が悪い
- ・町内の方とは限らないが、ごみのポイ捨てがある





- ・子どもが多い所と少ない所の差が出始めている
- ・仲の良い町内だと思いが、その中に入れない人にとっては淋しさを感じると思う
- ・県立病院はあるが、個人医院から紹介してもらいづらい
- ・県立病院が近くなり、救急車のサイレンが頻繁である
- ・町内会活動に参加している人はわずか
- ・町内会の役員の後継者をどうするのか
- ・地域防災力を考えなければいけない（消防団員の高齢化）
- ・町内で知らない方がいる（個人情報もあるが）
- ・災害を含め「対応力」があるとは言えない
- ・豊町から駅前に行くエレベーターに汚物があつた
- ・駅のエレベーターを利用して出てきたら、方向が良く分からなかった
- ・駅のエレベーターが、独立しているようで分かりにくく利用できなかった（建物に問題？）
- ・県道と市道の工事のため不便が起きた（迷路になった）
- ・犬のフンの始末が、まだ徹底されていない
- ・近所に誰ともあいさつをしない世帯がある
- ・地域全体として高齢化が進んでいる（アパートの増加）
- ・新しい道路が出来たことによる登下校時の横断、交通量が心配
- ・横断歩道などで左右を確認せずに渡ってくる自転車
- ・通学路に歩道がない（行政に要望しても進まない）
- ・高齢化が進んでいる
- ・新しい道路が出来たが横断歩道がついていない
- ・県道と市道の工事で横断するのに大変だ
- ・野良猫が多く困っています
- ・コンビニが出来てから、学生がゴミを落としていくので困っている
- ・川沿いの草を自分で取っていたが、だんだん大変になってきて困っている
- ・孤立化している
- ・下水道の本管に、接続しない家が多くあるので困っている

3 こんな地域であつたらいいな

- ・安全に歩ける道路の整備
- ・あやめの湯を複合施設に（温泉プールなど）
- ・コミュニティセンターの設立
- ・人と人とのつながりがある地域
- ・町内会役員に女性が入ってほしい
- ・東豊中学校がほしい
- ・「あやめの湯」の有効活用
- ・防犯灯をLEDにしてほしい
- ・新しい道路に信号機がほしい
- ・防災無線がほしい
- ・FM防災ラジオの補助（無償）
- ・もう少し子どもがいた方がよい
- ・子どもの人数が増えたらいい
- ・子どもが大勢いて遊んでいる姿が見えたらいいな
- ・子ども達の声がたくさん聞こえるとよい
- ・地区住民が一体となるコミュニティセンターが欲しい
- ・町内会の役員に大勢立候補するような町内であればよい
- ・隣近所の会話が聞こえてこないの、つながりが持てたらいいな
- ・駅東地区の交通が良くなること
- ・隣近所で声かけ合って、できる事をお互い様で手伝える地域
- ・安心安全な地域であつたらいいな
- ・職場が多い地域へ、若い人が残れる地域へ
- ・防災面で町内一斉放送設備があつたらいいな
- ・お年寄りにやさしい町内
- ・町内行事には、住んでいる義務と思って参加してほしい





- ・道路ですれ違ったら気持ち良くあいさつし合える地区（小学生は結構あいさつしてくれる）
- ・町内会関係団体の連携
- ・町内の催し物にみんなで参加する
- ・高齢者や単身世帯、引きこもりなど、おせっかい手前くらいで見守り等が出来るような関係づくり
- ・地域の方々と関わり合い、声かけが出来ればいいな
- ・一人暮らしの人の見守りは、隣組長に見てもらいたい
- ・つかず離れずの隣組に留まっているが、もっと仲良くなりたい
- ・町内一斉に連絡ができるシステムがあったらいい
- ・家庭のごみ出しルールを守ってくれたらいい
- ・隣組で集まってお茶のみできる地域
- ・町内全員がわかるようになりたい
- ・困った時に、助けてと言える地域
- ・町内会、子ども会、民生委員との連携による一人暮らし家庭の見守り体制づくり
- ・各行事の老若男女の積極的な参加
- ・一人ひとりが決められたルールを守れる町内（特にごみ出し）
- ・あいさつができる地域
- ・すれ違ったら「おはよう」「こんにちは」と自然にあいさつができればいいな
- ・一人暮らしのお年寄りが安心して暮らせる町内
- ・外で子どもの声が聞こえる町内
- ・若い人に町内行事に参加してもらいたい
- ・一人暮らしの人の話し相手になれたらいいな
- ・コミュニティセンターが新しくなるといいな
- ・災害対策がある地域
- ・世代間、同世代交流をもっと多くしたい
- ・コミュニティセンター建設の推進
- ・人を支援するために必要な個人情報がほしい

- ・子ども達のために何か伝統的なものを作っていきたい
- ・中学校が同じだと良い
- ・コミュニティバスの路線化
- ・駅の表裏関係なく、栄えてほしい
- ・市役所まで行かなくても、それなりの手続きの対応がとれたらいい
- ・誰とでもあいさつのできる地域
- ・いつでも誰でも集まれる場所があればいい
- ・あいさつ運動ができればいいな
- ・住民が地域に積極的に関わることができる（実際は難しいが）
- ・個性を認めあう社会（わがままとは違う）
- ・ご近所とつながりがある
- ・高齢者と子どものふれあう場があったら良い
- ・小さい子から、おじいちゃんやおばあちゃんの顔がわかる
- ・「おはよう」「こんにちは」とお互いに、あいさつを交わす町内
- ・安全、安心に暮らせる地域





4 私たちにできること

- ・ 隣組の絆を構築する
- ・ 身体の不自由な人のごみ出しの手伝い
- ・ 高齢者宅の玄関前の除雪をする
- ・ ごみ出しのマナーを守る
- ・ みんなで見守る
- ・ 気軽に誰でも声かけができるようにする
- ・ 一人暮らしの人を見守る地域づくり
- ・ 一人暮らしのお年寄りのごみ出しなどを手伝う
- ・ 地元の小学校との交流を続ける（サツマイモ作り）
- ・ 夏祭りを行い、親子で参加してもらう
- ・ 懇親会を増やし、人間関係を作りたい
- ・ 高齢者と懇親のためのお茶会をやること
- ・ 子どもから高齢者まで誰でも参加できる町内会づくり
- ・ 昼（日中）の防犯パトロール
- ・ 子ども達が集まれる場所の提供
- ・ 町内会の行事に若い方が参加できるように計画する
- ・ 町内行事に多く参加するよう努力する
- ・ 少年団活動、サークル活動の継続
- ・ 高齢者が集まって楽しめる場所を作るように心掛ける
- ・ あいさつをする
- ・ 園児や小学生に野菜づくりを教えること
- ・ 町内会の行事などに参加すること
- ・ 町内会の役員に、これ以上の福祉活動は無理なので新しい活動母体をつくる
- ・ 福祉の活動をより上のレベルにしたい
- ・ 町内会活動（行事、役員等）にもっと協力がほしい
- ・ 子どもの学習の手助けはできそう
- ・ 一人暮らしの人とのコミュニケーションを図る
- ・ 全ての面で声をかけあう
- ・ スポーツの補助、囲碁将棋など教えられる



- ・ 回覧板を早く回すようにする
- ・ あいさつをするように心掛ける
- ・ 病気の時、一品の料理を持っていく
- ・ 家の周りや町内にごみが落ちていたら拾う
- ・ 高齢者や一人暮らしの方への声かけ
- ・ 子どもが道路で危ないことをしていたら注意する
- ・ 仕事で一日中、車で回っているの何か見つけたら声をかける
- ・ 高齢者を見守り、除雪の手伝い等をする
- ・ 「買い物（重い物など）ありますか？」と聞ける間柄になればいいですね
- ・ 進んで町内の行事に参加する
- ・ 町内を巡回して危険箇所を発見し対策、行政に連絡
- ・ 一人暮らしの高齢者、障がい者宅前の除雪やごみ出し等の声かけ
- ・ 各戸に対するアンケート調査を実施する（困っている事、町内会でやっている事、ボランティアで希望する事等）
- ・ 向こう三軒両隣と仲良くする
- ・ 子どもへの積極的な声かけ（あいさつ運動の推進）
- ・ 高齢者、一人暮らしの方への目配り、気配り（例えば冬場の除雪）



- ・声かけの大切さ「おはようございます」「こんばんは」など大人のみならず、子どもに対しても自ら声をかけること
- ・それぞれの持ち場で、最大限の努力を地域の発展に尽くす
- ・老若男女問わず、参加出来る行事を計画する
- ・個人、隣組長を担当して配るだけでなく、一声かけてコミュニケーションをとる
- ・あいさつ、声かけを通じて個人情報の把握
- ・各世代のリーダーの育成
- ・気軽に声をかけあえる地域でありたい
- ・ごみ出しの手伝いをしている（既に近所で実施）
- ・子育て世代間の交流（バーベキュー、フリーマーケット等）
- ・地域、隣近所の情報の共有
- ・市などの主催する勉強会に興味があれば積極的に参加する
- ・全世帯をまき込むような行事の計画
- ・あいさつ運動
- ・まずは自分から「おはよう」「こんにちは」と声かけをする
- ・ごみやたばこの吸い殻を捨てない
- ・交通安全のために積極的に事故防止の活動をする
- ・町内になるべく貢献していく
- ・集まり（催し物）の参加と呼びかけ
- ・町内会活動の充実、事業の重点化
- ・ごみを拾う
- ・気付き、気遣い、目配り、声かけを実行する
- ・出来る事からお互いに助け合っていたら
- ・公園の花壇作りを始めた（手伝いをしてくれる方が増えた）
- ・関係機関と連携を図る
- ・交通安全を推進する団体を増やす





6 参考資料

「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

1 基本理念

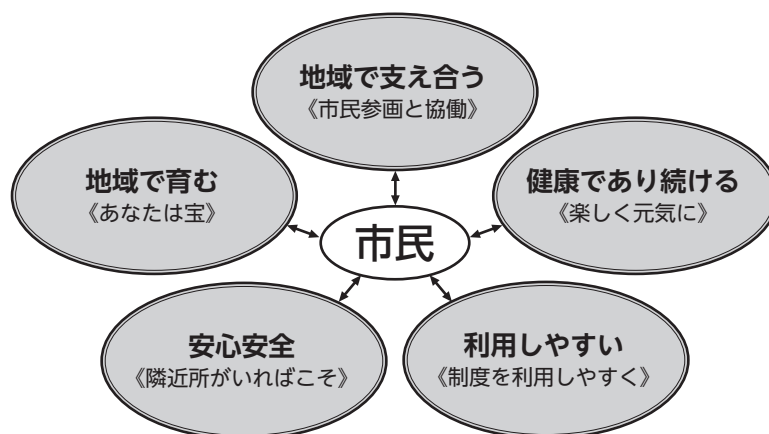
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切にし、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域でともに支え合い
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政と協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔に包まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



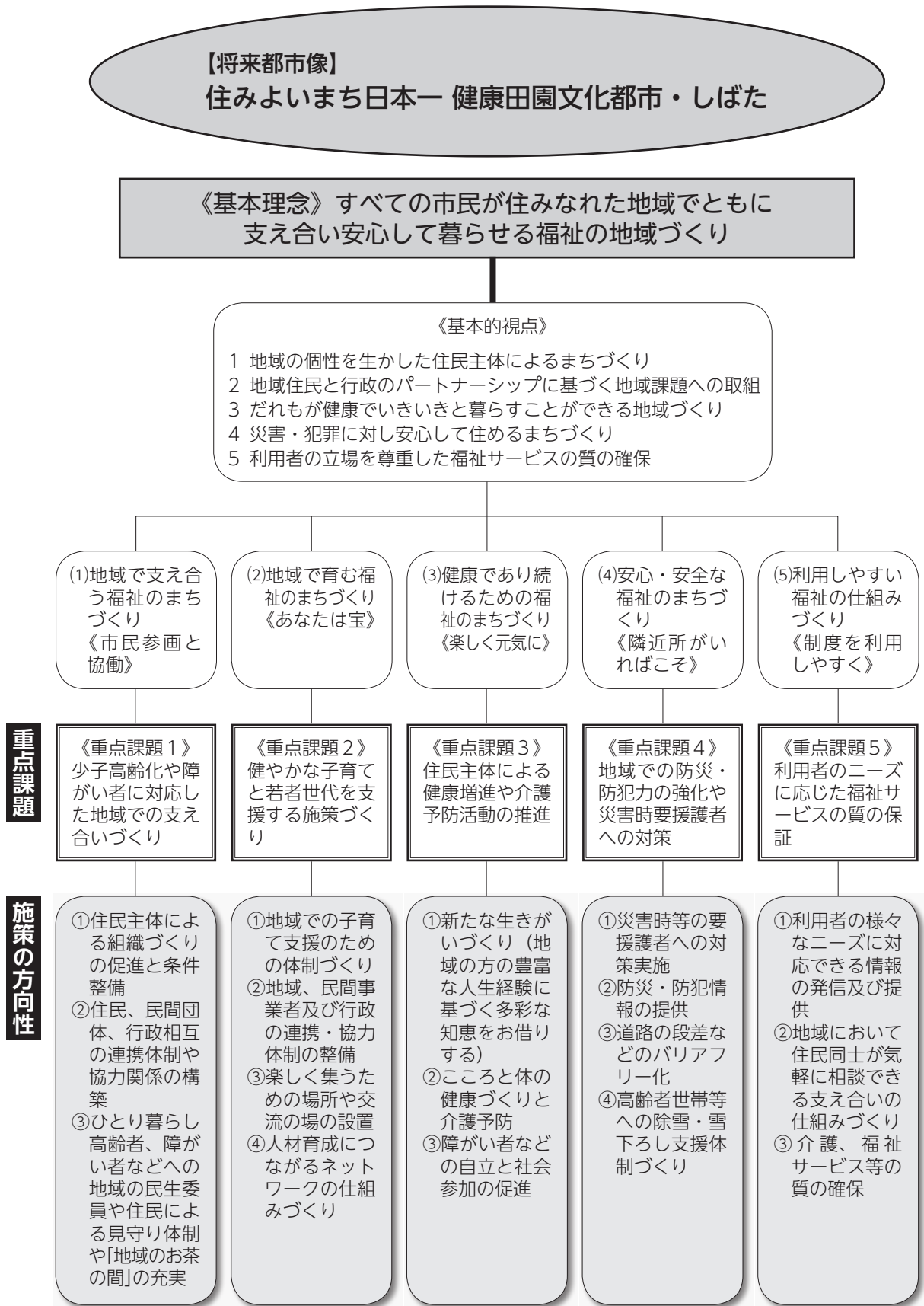
新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課
Tel 22-3030

新発田市社会福祉協議会
Tel 23-1000

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



誰もが住み慣れた 地域で安心して生活 を送るために

地域の人と人とのつながりを大切に
し、お互いに助けたり助けられたりす
る関係やその仕組みづくりを目指して



第1回 東豊地区福祉懇談会

日程 平成28年8月4日(木)
会場 新発田市ボランティアセンター
参加者 住民56人
市・社協・包括17人

- ①開会挨拶
東豊地区自治会連合会 阿部会長
- ②趣旨説明
新発田市 社会福祉課
- ③勉強会
新発田市社会福祉協議会
- ④グループワーク
「魅力あふれる東豊地区を目指して」
- ⑤閉会挨拶
東豊地区自治会連合会 吉川事務局長

福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせる仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について、住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的な制度(公助)の連携によって解決し

ていこうとする取り組みが必要です。

東豊地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の魅力や課題などを共有しながら、住民の行動計画である「東豊地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

**地域の全ての人が
自分らしく安心して暮らして
いける地域を目指して**

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



第2回 東豊地区福祉懇談会

日程 平成28年9月1日(木)
会場 新発田市ボランティアセンター
参加者 住民47人
市・社協・包括15人

①開会挨拶

東豊地区自治会連合会 阿部会長

②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・地区の現状と課題の整理
- ・基本目標の検討
- ・グループ発表

③閉会挨拶

東豊地区自治会連合会 吉川事務局長

ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

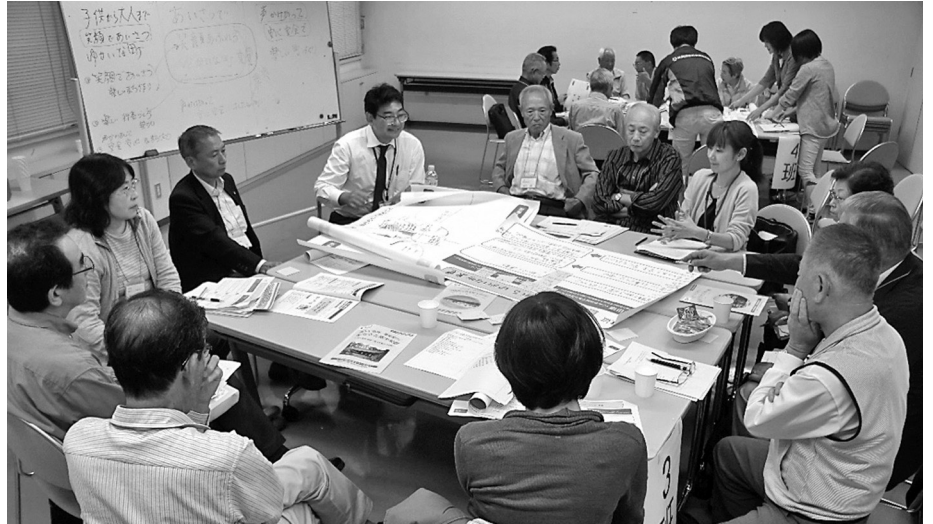
そのため“東豊地区福祉懇談会”では、より多くの住民に地

域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ(地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること)の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。

地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように身近な地域で福祉活動を活性化し、新しい地域づくりを目指します



第3回 東豊地区福祉懇談会

日程 平成28年10月6日(木)
会場 新発田市ボランティアセンター
参加者 住民50人
市・社協・包括17人

①開会挨拶

東豊地区自治会連合会 阿部会長

②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・基本目標の検討
- ・スローガンの検討
- ・グループ発表

⑤閉会挨拶

東豊地区自治会連合会 吉川事務局長

これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって支えられてきた人々の暮らしが、生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、地域での連帯感の希薄化などが進み、制度の谷間であって対応できない課題も多く生じてきています。

“東豊地区福祉懇談会”では、地域の住民が主体となって地域での支え合いを図り、より一層の地域福祉活動の活性化を目指すことで、住み慣れた地域でこ

れまでの社会関係を維持しながら、誰もが生きがいを持ち、一人ひとりが役割を発揮する地域づくりに向けて力を合わせる必要があります。

第3回福祉懇談会では、第2回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら、整理したキーワードをもとに、東豊地区福祉活動計画の基本目標やスローガンを検討しました。

東豊地区編集委員		
No.	所 属	氏 名
1	東豊地区自治会連合会	阿部 功
2	東豊地区自治会連合会	吉川 治男
3	東豊地区自治会連合会	居木井孝誠
4	豊町1・2丁目町内会	粕谷 弘之
5	豊町3・4丁目町内会	島 仁
6	豊町3・4丁目町内会	志村美代子
7	東新町西町内会	丸山 恵
8	東新町3丁目町内会	三田村真弓
9	NPO法人ユー&ミーの会	佐藤 恭子

～ みんなでつながる福祉のまちづくり ～

編 集：東豊地区編集委員会・東豊地区自治会連合会
新発田市・社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

発 行：平成29年3月

新発田市

〒957-8686 新発田市中心3丁目3番3号

社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

〒957-0054 新発田市本町4丁目16番83号

東豊の住民総参加を目指して

温もりある福祉活動をくり広げています



東豊地区自治会連合会

豊町1・2丁目町内会
東新町3丁目町内会

豊町3・4丁目町内会
東新町4丁目町内会

東新町西町内会
高浜町内会

東新町2丁目町内会